

財政収支(1-6月)

(1) 1-6月の歳入は前年同期比46.1%増、税収は同48.5%増。歳出は前年同期比43.7%増。
(2) 1-6月の財政収支は9,804.78億リラの赤字、プライマリーバランスは1,309.62億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-6月(A)	2025年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	38,313.65	55,985.80	46.1%
税収	32,133.65	47,714.57	48.5%
所得税	5,875.35	11,544.62	96.5%
法人税	4,658.47	5,389.03	15.7%
付加価値税(国内及び輸入)	10,673.76	14,639.66	37.2%
特別消費税	6,087.26	8,428.60	38.5%
その他税収	4,838.81	7,712.66	59.4%
税外収入等	6,180.00	8,271.23	33.8%
歳出(b)	45,785.49	65,790.58	43.7%
人件費	12,854.20	17,477.93	36.0%
物品及びサービスの購入	2,717.88	4,131.88	52.0%
経常移転	18,289.98	25,123.16	37.4%
資本支出	2,875.10	4,323.61	50.4%
支払利子(c)	5,744.24	11,114.40	93.5%
その他歳出	3,304.09	3,619.60	9.5%
財政収支(a-b)	▲ 7,471.83	▲ 9,804.78	▲ 31.2%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 1,727.60	1,309.62	175.8%

経常収支(1-5月)

(1) 1~5月の経常収支は、210.39億ドルの赤字(前年同期は151.90億ドルの赤字)。
(2) 1~5月の貿易収支(物品)は306.05億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は138.95億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

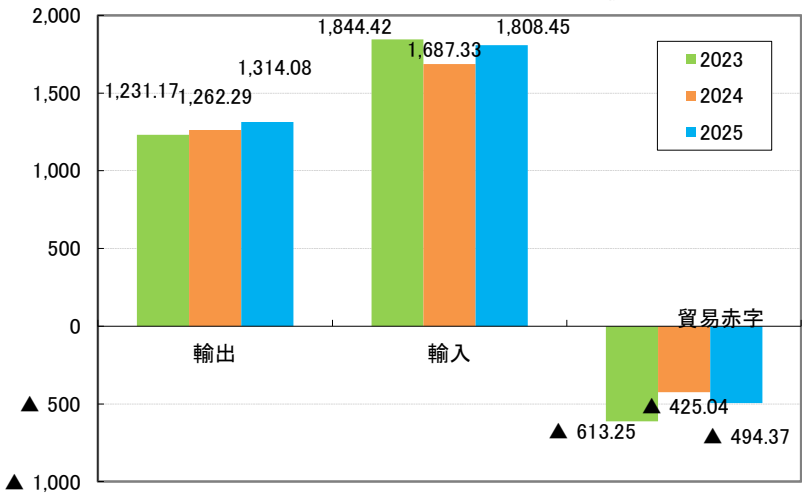
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1~5月(A)	2025年1~5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 151.90	▲ 210.39	▲ 38.5%
貿易収支(物品)	▲ 259.76	▲ 306.05	▲ 17.8%
サービス収支	173.72	176.25	1.5%
旅行収支	136.74	138.95	1.6%
第1次所得収支	▲ 64.68	▲ 78.01	▲ 20.6%
第2次所得収支	▲ 1.18	▲ 2.58	▲ 118.6%
労働者送金	0.36	0.29	▲ 19.4%
資本移転等収支	▲ 0.22	0.01	104.5%
金融収支	▲ 209.02	▲ 269.44	▲ 28.9%
直接投資	▲ 17.33	▲ 12.28	29.1%
証券投資	▲ 87.18	71.00	181.4%
その他投資	▲ 29.34	▲ 96.99	▲ 230.6%
外貨準備	▲ 75.17	▲ 231.17	▲ 207.5%
誤差脱漏	▲ 56.90	▲ 59.06	▲ 3.8%

貿易収支(1-6月)

(1) 1-6月の輸出額は1,314.08億ドル(前年同期比4.1%増)、輸入額は1,808.45億ドル(同7.2%増)となり、この結果、貿易収支は494.37億ドルの赤字(同16.3%赤字幅拡大)。
(2) 1-6月の輸出額におけるEU向けの割合は43.9%(前年同期は42.3%)、輸入額におけるEUからの割合は31.4%(前年同期は32.4%)となっている。

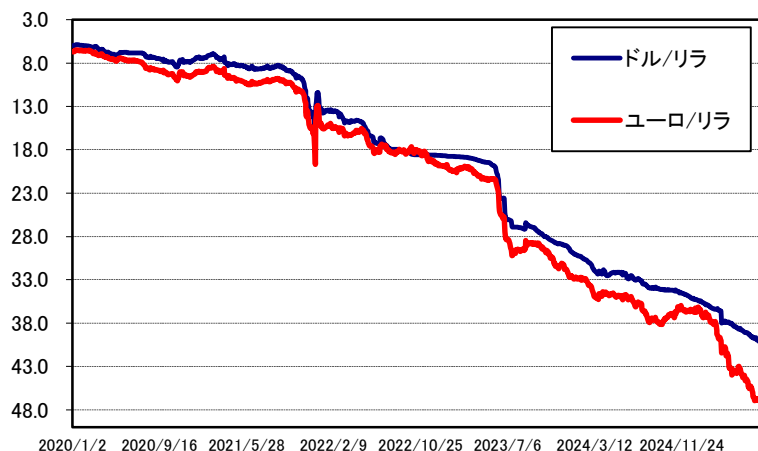
データ:統計局 単位:億ドル



為替(7月)

7月に中銀は利下げを決定したが、市場予想通りでサプライズは無く、対ドル・対ユーロ共に反応は限定的。月末時点では1ドル＝40.51リラ(前月末比1.94%安)、1ユーロ＝46.37リラ(前月末比0.50%高)となった。

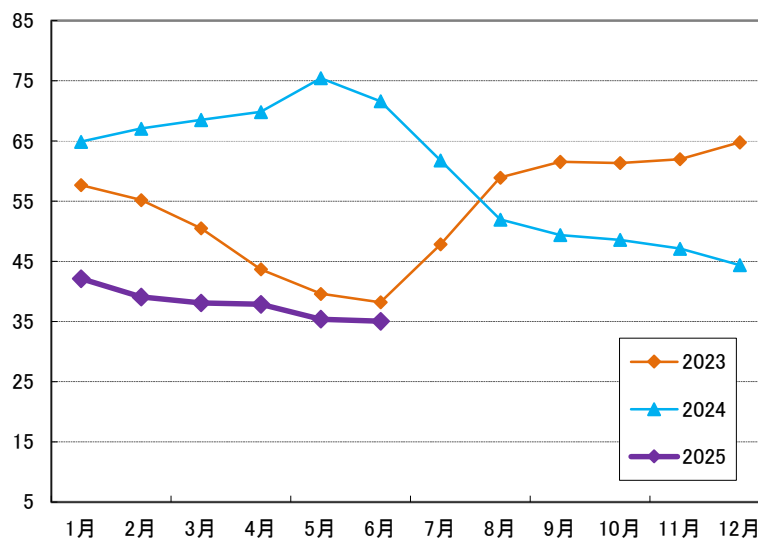
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(6月)

(1) 6月の消費者物価は前年同月比35.05%、前月比1.37%。
 (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が73.33%となり最も上昇した。前月比においても教育が4.48%となり最も上昇した。
 (3) 国内生産者物価指数(6月)は前年同月比34.45%増、前月比2.46%増となった。

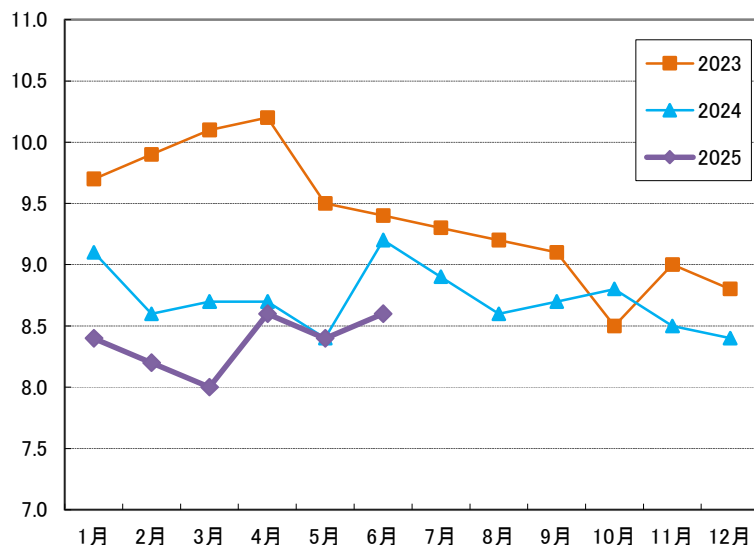
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(6月)

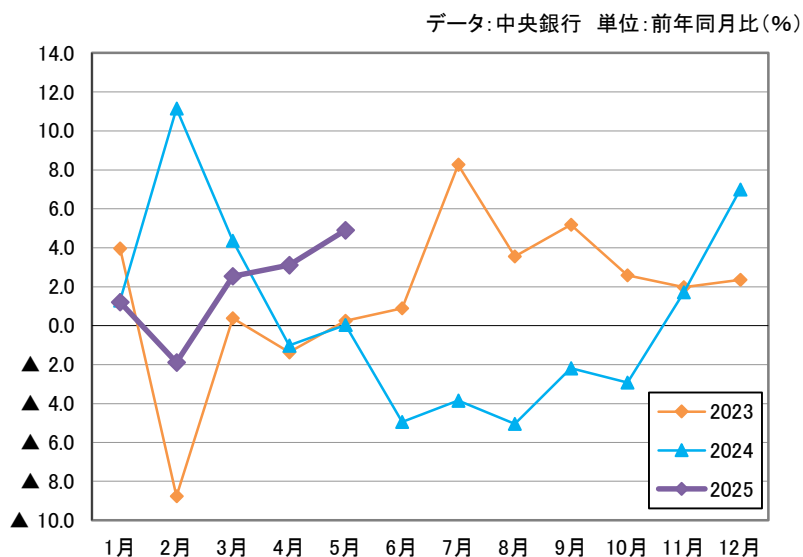
(1) 6月の失業率(季節調整後)は8.6%となり、前月から0.2ポイント上昇。
 (2) 労働力人口は3,549.8万人、就労者数は3,245.2万人、失業者数は304.7万人。
 (3) 男性の失業率は7.1%、女性は11.4%。若年層(15-24歳)の失業率は16.2%となっている。

データ: 統計庁 単位: %



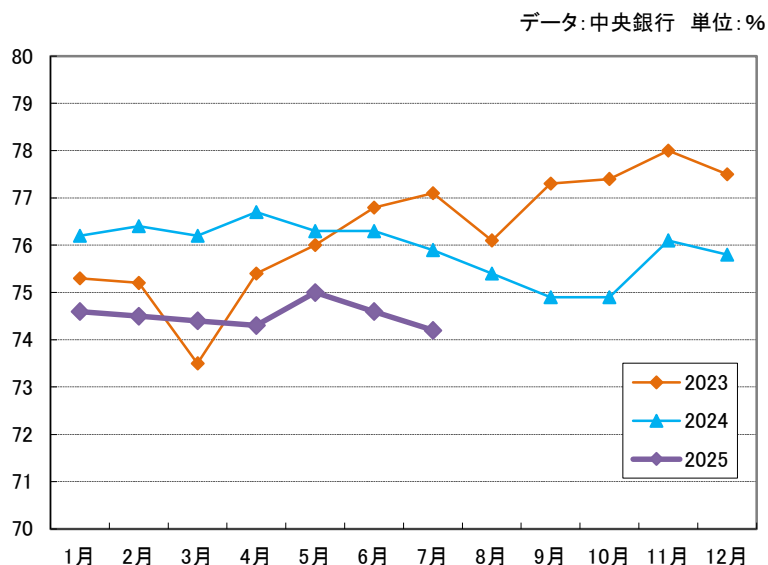
鉱工業生産(5月)

(1)5月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)4.9%増。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比1.7%減、資本財が同12.0%増、中間財が同3.1%増となった。



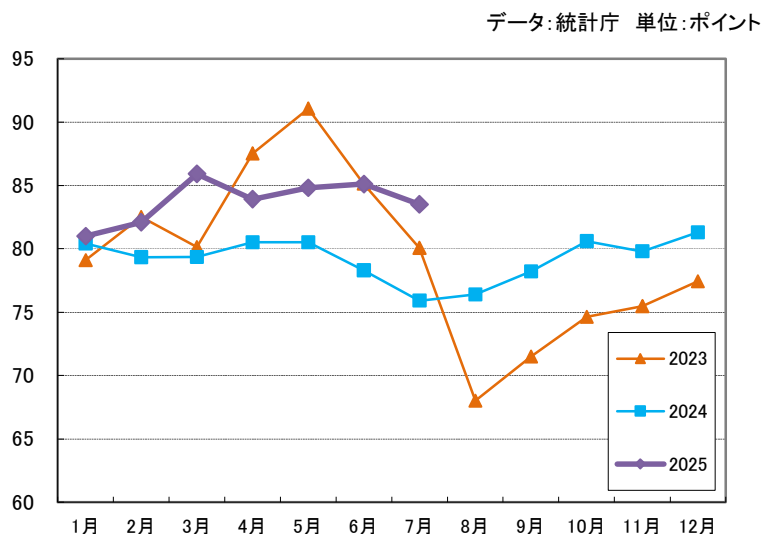
設備稼働率(7月)

(1)7月の設備稼働率は74.2%となり、前年同月から1.7ポイント低下。前月から0.4ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、たばこ製造業(85.2%)が最も稼働率が高く、その他機械器具製造業(65.7%)が最も低い稼働率であった。



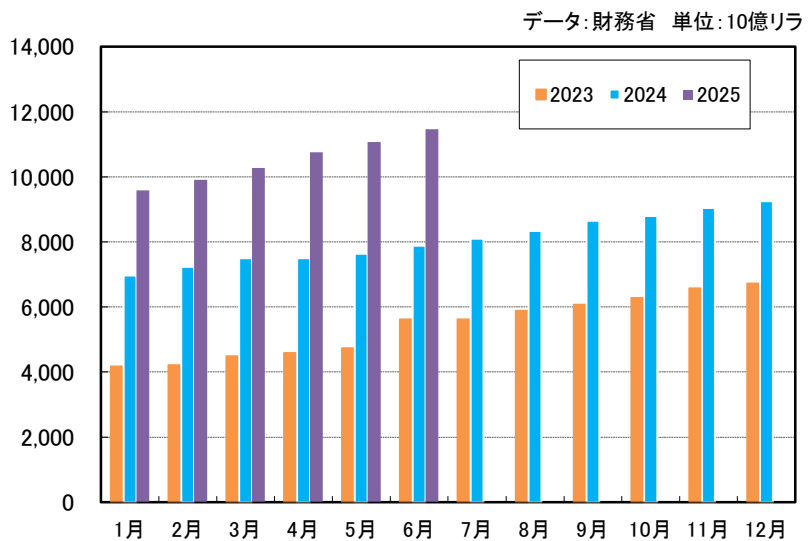
消費者信頼感指数(7月)

(1)7月の消費者信頼感指数(季節調整値)は83.5ポイントとなり、前月から1.6ポイント低下。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」全てが前月から低下。



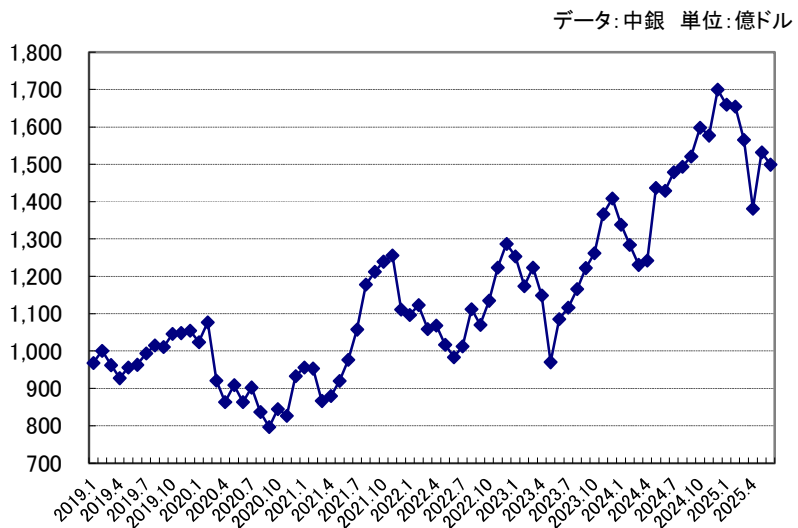
中央政府債務残高(6月)

(1)6月末時点での中央政府債務残高は11兆4,624億リラとなり、前年同月比45.4%増、前月比3.6%増となった。
 (2)また、国内債務比率は57.3%、自国通貨債務比率は46.3%(2024年末は43.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



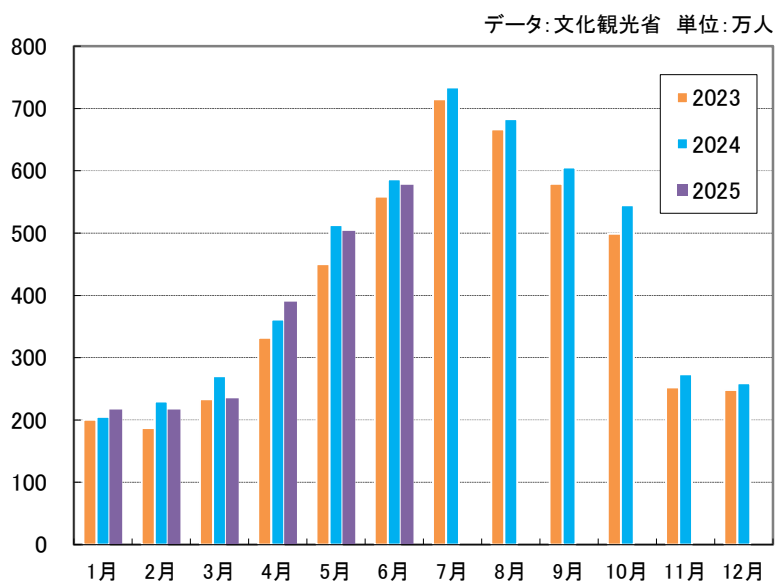
外貨準備高(6月)

(1)6月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,498.97億ドルとなった。
 (2)前月から32.93億ドル減少した。



外国人訪問者数(6月)

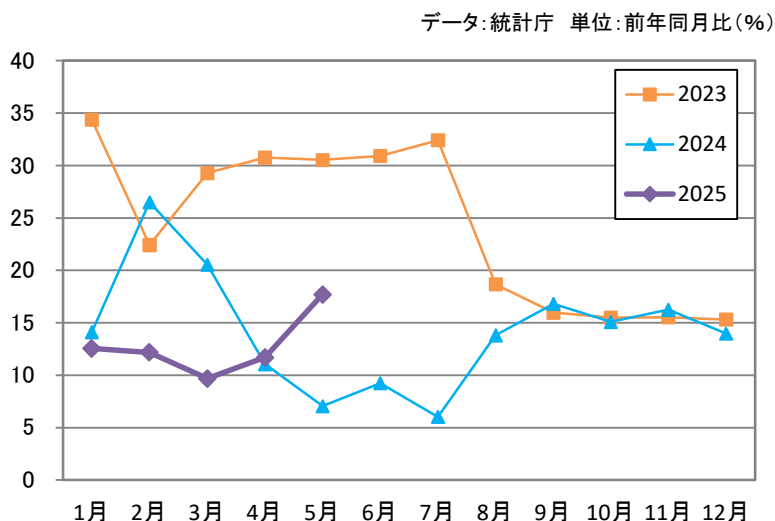
(1)6月の外国人訪問者数は5,772,328人で、前年同月比1.50%減。日本は14,337人であった(前年同月11,891人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、887,283人で全体の15.37%を占め、以下ドイツ(683,122人)、イギリス(527,933人)となっている。



小売売上高(5月)

(1)5月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)17.7%増、前月比(季節及び日数調整後)1.6%増。

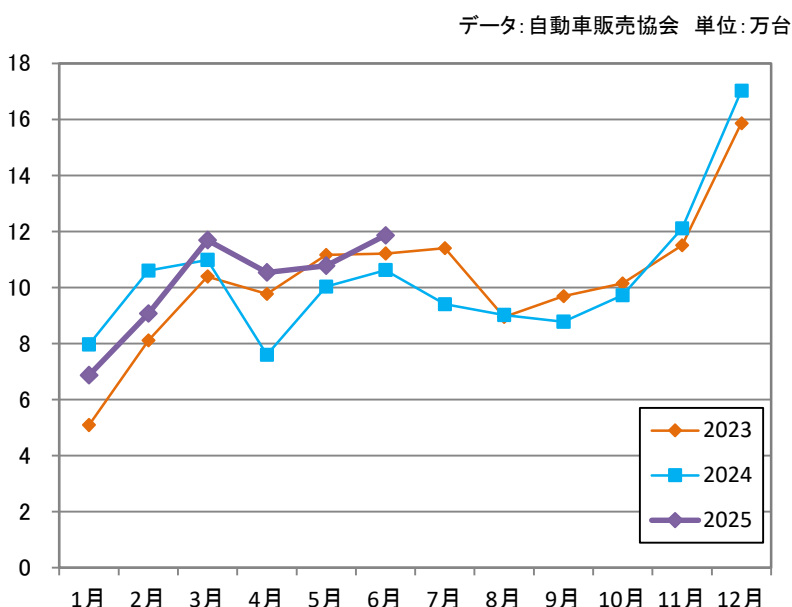
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比12.3%増、情報・通信機器が同36.1%増となった。



新車販売台数(6月)

(1)6月の新車販売台数は118,611台で前年同月比11.6%増。

(2)6月の内訳は乗用車が93,676台(前年同月比6.6%増)、小型商用車が24,935台(同35.7%増)となった。



住宅販売戸数(6月)

(1)6月の住宅販売戸数は107,723戸で前年同月比35.8%増となった。

(2)6月は新築が33,569戸(前年同月比32.0%増)、中古が74,154戸(同37.6%増)。

(3)6月の住宅ローンでの購入は14,484戸(前年同月比112.6%増)、その他が93,239戸(同28.6%増)。

